

離床センサーシステム

EPS

Eye&Person&System

ご導入施設

インタビュー

Vol.2



所在地 〒820-8505
福岡県飯塚市芳雄町3-38
TEL 0948-22-3800(代表)

株式会社麻生 飯塚病院 様へ

インタビューしました

ご施設紹介

飯塚病院様は、大正7年以来約100年の歴史を持たれ、麻生太吉翁の「郡民のために良医を招き、治療投薬の万全を図らんとする」開設の精神を受け継ぎ、真心のこもった最良の医療を皆様にお届けするための努力を続けられています。

また地域医療支援病院、救命救急センター、災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、福岡県総合周産期母子医療センターなどの機能を有し「まごころ医療、まごころサービス」を目標に地域医療に貢献されています。

医療やサービスの質のさらなる向上を図るため、TQMの導入など改善活動にも積極的に取り組んでおられます。また国際的なマネジメント規格であるISO規格を9001(品質マネジメントシステム)・14001(環境マネジメントシステム)の分野で認証取得されています。

医療安全については患者さん、ご家族、医療従事者の「だれもが辛い目にあわない」を合い言葉に医療事故ゼロを目指して東京大学や早稲田大学との共同研究なども行い、医療安全に取り組まれています。

この度、株式会社イムズ製の離床センサーEPSシステムを飯塚病院MEセンターへ導入するにあたって、ご検討された内容を離床工学部主任村上輝之様へインタビュー致しました。

the Voice
スタッフの声

～臨床工学部スタッフの皆さま～



臨床工学部 村上輝之主任
(前列右側二人目)

当院は、患者さん第一(ペイシェントファースト)を追及したチーム医療の下、迅速な改善策などにより医療の質向上に日々努めています。

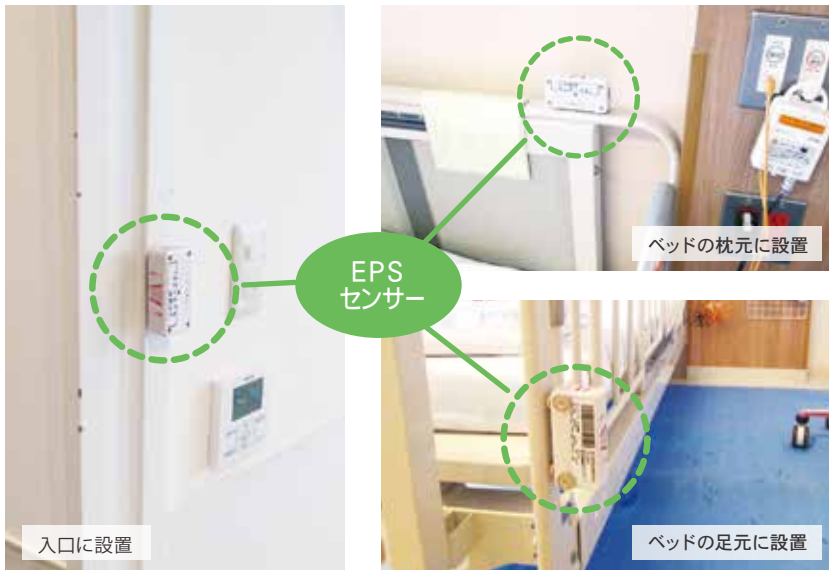
離床監視については、看護部門と共同で各種センサーによる監視を組み合わせ対応してきましたが、各センサーの性能や品質によりセンサーでの離床監視の限界がありました。

今回、株式会社イムズ製のEPS離床センサーシステムを導入することで、患者さんの安全が図られると共に業務効率向上につながりました。

従来のマットセンサーや赤外線センサーと異なり、耐久性や正確性が有り、離床前にセンサーで患者さんの状態を捉え、ナースセンターに知らせるため、導入後は患者さんの安全性の向上が図られると共に看護部、臨床工学部双方の業務効率の向上にもつながりました。

● 病棟での設置状況

使用機種：離床センサーEPSシステム、ナースコール連動対応10セット
使用病棟：脳神経外科、神経内科、循環器内科等



MEセンターの紹介

- 医療機器管理台数
10,500台
- 中央管理貸出機器
28種 1,895台
- 平均点検台数
90台/Day



今後、他のセンサーから順次置換えを進め、50セットでの運用になる予定です。



製品のお問合せ先



株式会社 イムズ
鹿児島県鹿児島市武岡1-17-1
福岡県福岡市早良区4-13-7-202
<http://www.imsys.co.jp>

TEL 099-296-8817

FAX 099-283-5801

E-Mail eps-info@imsys.co.jp